

構造

用語	読み方	定義
青端	あおたん	線心、対、カッド、ユニット等の配列が時計廻りの端末。(時計廻りを国内では、青端、国外ではred endという。)
赤端	あかたん	線心、対、カッド、ユニット等の配列が反時計廻りの端末。(反時計廻りを国内では、赤端、国外ではgreen endという。)
あじろがい装	あじろがいそう	機械的保護に用いられるもので、亜鉛めっき鋼線等でシース上に施す編組。
圧縮円形より線	あっしゆくえんけいよりせん	素線を同心円状により合わせて、円形に圧縮成形された導体。(『円形圧縮より線』ともいう。)
圧縮成形より線	あっしゆくせいけいよりせん	素線をより合わせて、扇形に圧縮成形された導体。
編込率	あみこみりつ	編組された線の長さに対する素線の長さの増加分を百分率で表したものの。
アルペス		ケーブルコア上にひだ付アルミテープを縦添えし、その上にポリエチレンを被覆した外装。
アルミ被	あるみひ	絶縁体を保護するとともに内部の絶縁油による圧力に耐え、かつ湿気が絶縁体に達しないことを目的としたアルミ製の金属シース。(OFケーブル、超高压CVケーブルなどに採用されている。)
合わせ巻き	あわせまき	2枚のテープを併せて、同時に重ね巻きする巻き方。(『よろい巻き』ともいう。)
一括シース形	いっかつしーすがた	線心を複数本より合わせた上にシースを施した構造。
一括遮へい	いっかつしゃへい	単心ケーブルにあつては線心上、多心ケーブルにあつてはより合わせた上に遮へいした構造。
1種	いっしゆ	エナメル線の皮膜が厚いもの。
打数	うちすう	編組における糸または金属線のまとまりである群の数。
Sより	えすより	より線の素線または線心のより方向がS文字状となっているもの。(『右より』ともいうが、英語では left lay という。)
円形圧縮より線	えんけいあっしゆくよりせん	素線を同心円状により合わせて、円形に圧縮成形された導体。
円形鋼心	えんけいこうしん	圧縮形アルミ覆鋼線において、鋼線の形状が円形のもの。
鉛被	えんぴ	絶縁体を保護するとともに内部の絶縁油による圧力に耐え、かつ湿気が絶縁体に達しないことを目的とした鉛製の金属シース。(水底ケーブルなどに採用されている。)
押え巻き	おさえまき	より合わせた線心等がより崩れないようにまたは機械的・電氣的防護のために施すテープ巻き。
介在 (介在物)	かいざい (かいざいぶつ)	線心を集合する際に線心間の隙間を埋めるために使用する材料。(使用する材料は、ジュート・紙・糸・プラスチック製の紐・チューブ等。)
外部導体	がいぶどうたい	同軸ケーブル等で、編組、横巻、テープ、パイプ等で構成される外側にある円筒状の導体。
外部半導電層	がいぶはんどうでんそう	ケーブルの電気性能を安定させるため絶縁体の外側に設ける半導電層。
各心遮へい	かくしんしゃへい	多心ケーブルで線心ごとに遮へいを施した構造。
各対遮へい	かくついしゃへい	多対ケーブルで各対ごとに遮へいを施した構造。
隔壁	かくへき	平形ケーブルで線心ブロックを分離する部分。
重ね巻き	かさねまき	テープ巻の際、テープ端を他端が重ね合わさるようにして巻きつけること。(『ラップ巻き』ともいう。)

用語	読み方	定義
カッド		4本の線心で対を成す線心がほぼ正方形の対角線上に位置するように揃えてより合わせたもの。(『星より』ともいう。)
間隙巻き	かんげきまき	テープ巻の際、テープ間に隙間ができるようにして巻き付けること。(『ギャップ巻き』ともいう。)
含浸紙	がんしんし	絶縁油を含浸させた絶縁紙。(OFケーブルなどに使用する。)
ギャップ巻き	ぎゃっぷまき	テープ巻の際、テープ間に隙間ができるようにして巻き付けること。(『間隙巻き』ともいう。)
空隙型	くうげきがた	等価誘電率を下げるため隙間をあけた絶縁体形状。(プラスチックの円板・ひも)
ケーブル心	けーぶるしん	いくつかの線心やユニットの集合体のこと。
合金鉛被	ごうきんえんぴ	鉛被の一種で、機械的特性を向上させるために、鉛以外の金属元素を配合した合金金属シース。
高遮へい	こうしゃへい	金属シース、鋼帯がい装等を利用した遮へい効果の高い電磁遮へい。
交織編組	こうしょくへんそ	異なった種類の線状材料(例えば、金属線と繊維糸)を組み合わせて編組した構造。
鋼帯がい装	こうたいがいそう	がい装の一種で、ケーブルに鋼帯を間隙巻きしたもの。
高発泡～	こうはっぼう～	発泡度が高い発泡。
ゴム引布テープ	ごむびきぬのていぶ	布製のテープにゴムを被覆したもの。
最外層	さいがいそう	導体の素線またはケーブルの線心を同心円状により合わせる場合において、最も外側に位置する素線または線心の層。
座床	ざしょう	(1)がい装の下に設け、がい装が受ける衝撃などをシースおよび内部線心に直接与えないようにするためのクッション層。 (2)4種キャブタイヤケーブルの隣接線心が接しないよう線心相互間に施し、ケーブルが受ける衝撃をやわらげて短絡を防止するためのクッション層。
3種	さんしゆ	エナメル線の皮膜の特に薄いもの。
3層同時押出型	さんそうどうじおしだしがた	ケーブルの導体上に内部半導電層、絶縁体、外部半導電層を同一工程で押出被覆する方式。
色別	しきべつ	線心識別の一種で線心を色で識別する方法。
自己支持形	じこしじがた	ケーブル本体と支持線とを一体化した架空配線用ケーブルの形状の総称。(『SS形』ともいう。)
集合	しゅうごう	対またはカッドを必要な数だけ集め、よりを加えてケーブル心をつくること。(集合方法には、『層』と『ユニット』の区別がある。)
集合より	しゅうごうより	素線をひとまとめにし、より合わせること。
充実型	じゅうじつがた	内部導体と密接して、これとほぼ同心円状に絶縁体を被覆すること。
首部	しゆぶ	8字形SSケーブルにおけるケーブルと支持線間のブリッジ部分。
スキッドワイヤ		ケーブル引入れ時の摩擦軽減および傾斜地布設等での線心移動防止のため、POFケーブル等の線心最外層に巻付ける半円状の金属線。
スリット		8字形SSケーブルの首部に施された風圧軽減のための空隙。
静電遮へい	せいでんしゃへい	静電結合のよる誘導電圧を低減させるための遮へい。

用語	読み方	定義
セグメント		分割導体を構成するため扇形に圧縮加工された部分導体。
絶縁	ぜつえん	導体に流した電流が外部に漏れるのを防ぐため、導体上に絶縁被覆を施すこと。
絶縁被覆	ぜつえんひふく	横巻線に施された絶縁物。
絶縁皮膜	ぜつえんひまく	エナメル線に施された絶縁物。
Zより	ぜつとより	より線の素線または線心のより方向がZ文字状となっているもの。
セパレータ		隣接する層間(例えば、導体と絶縁体)の剥離を容易にするなどの目的で、テープ等によって設けた隔離層。
O種	ぜろしゅ	エナメル線の皮膜の特に厚いもの。
扇形鋼心	せんけいこうしん	圧縮型アルミ覆鋼線において、鋼線の形状が扇形のもの。
線心識別	せんしんしきべつ	結線作業を容易にするために色分けなどで線心を区別する方法。
層間	そうかん	線心、対またはカッドを同心円状に並べた層の集合における隣接した層の間。
層心径	そうしんけい	より線または線心より合わせにおいて、その層に含まれる線心の中心を連ねる円の直径。
素線	そせん	より線または編組を構成する個々の線のこと。
素線径	そせんけい	単線またはより線の個々の線の直径。
素線数	そせんすう	より線の個々の線の本数。
粗巻き	そまき	綿・人絹・プラスチック等の糸またはテープ等をケーブルの形状の保持または線心の識別のために粗い間隔で巻くこと。
縦添え	たてぞえ	テープ、ドレンワイヤ、標識テープ等を線心の長さ方向に添える構造。
単線	たんせん	一本の導体で構成されている線のこと。
中空円形より線	ちゅうくうえんけい よりせん	亜鉛めっき鋼帯等をらせん状としたものを中心として、その上に素線をより合わせた中空の導体。
中空分割圧縮 より線	ちゅうくうぶんかつ あつしゅくよりせん	亜鉛めっき鋼帯等をらせん状としたものを中心として、その上に圧縮成形したセグメントをより合わせ、隣り合うセグメント間を絶縁紙などによってお互いに絶縁した中空の導体。
対	つい	線心二本をより合わせたもの。
対数	つiusう	線心二本をより合わせたものを一対とした時の対の数。(カッドの場合は、二対となる。)
突合せ巻き	つきあわせまき	テープの端部を突合わせて横巻きすること。
低油圧OFケーブル	ていゆあつOF ケーブル	最高油圧が、常時0.294MPa(3.0kg/cm ² G)、過渡時0.588MPa(6.0kg/cm ² G)のOFケーブル。
鉄線がい装	てっせんがいそう	がい装の一種で、シース上に複数本の鉄線を同心円状に横巻きした構造。(国内では主に海底ケーブルや堅坑ケーブルに使用されているが、国外では直埋ケーブルに多く使用されている。)
電磁遮へい	でんじしゃへい	電磁結合による誘導を低減させるための遮へい。
電力紙	でんりよくし	OFケーブル等の紙絶縁ケーブルで使用される絶縁紙等の紙テープの総称。

用語	読み方	定義
等価径	とうかけい	圧縮形導体において、素線の断面積を等価とした場合の丸線径。
同心円状	どうしんえんじょう	各層の円の中心が同一で、円状に仕上げること。
同心より	どうしんより	より線において各層が中心に対して同心円状により合わせたもの。
銅線織込布テープ	どうせんおりこみぬのてーぷ	金属シース付ケーブル等で、遮へい層と金属シースを電氣的に接触させるために用いられる銅線が織り込まれた布テープ。
トリプレックス形	とりぷれっくすがた	単心のケーブルを3本より合わせた構造。
トレーサ		同一層において基準となる線心をひとつにおいて、他の線心と異なる色にして選別する方法。
ドレンワイヤ		金属遮へい層付きのケーブルにおいて、端末処理部分での接地線の取出しを容易にするために縦添えする金属線。
内部導体	ないぶどうたい	同軸ケーブル等で電線の中心におかれた導体。
波付け	なみつけ	鋼、アルミニウム、ステンレスで構成されたケーブルの金属シースに対して可とう性をもたせるためのら旋状または蛇腹の形状。
波付鋼管がい装	なみつきこうかんがいそう	がい装の一種で、鋼テープを縦添えし、合わせ目を溶接した後に波付加工した構造。
ナンバリング		線心識別の一種で、線心を数字で識別する方法。
2種	にしゅ	エナメル線の皮膜の薄いもの。
二種複合より	にしゅふくごうより	複合より線をさらに同心円状により合わせたもの。
バイнда		分割圧縮円形より線においてセグメントより合わせ後、一括するために導体上に巻き付ける非磁性金属テープなどのこと。
バインド線	ばいんどせん	ラッシング形SSケーブルのケーブル本体と支持線を一体化するために巻き付ける線。
8字形	はちのじがた	ケーブル本体と支持線が平行に共通被覆された構造。
発泡	はっぼう	等価誘電導を下げるために内部に微細な気泡をもたせた絶縁体形状。
半導電性カーボン紙	はんどうでんせいカーぼんし	OFケーブルの半導電層として、導体上および絶縁体最外層に使用されるカーボンを配合した紙テープ。
半導電層	はんどうでんそう	絶縁体の内面、あるいは外面に密着させて設け、導体と絶縁体との間、絶縁体と遮へい層の間に行ける空隙にコロナが発生しないようにすることを目的とし、導体と絶縁体の中間的な固有抵抗を有している層。
引裂きひも	ひきさきひも	ケーブルの端末処理を容易にするためにシース下に縦添えしたプラスチック等のひも。
非磁性金属テープ	ひじせいきんぞくてーぷ	非磁性体の金属を使用した金属テープ。
左巻き	ひだりまき	テープ等を巻くとき、進行方向に対して反時計方向に巻くこと。(英語では right hand lay という。)
ピッチ		より合わせの回転で軸方向に沿って素線または線心が一回転する間に進む距離。
ピッチ倍数	ぴっちばいすう	より合わせのピッチを層心径または外径の倍数で表したもの。
複合より	ふくごうより	集合より線を同心円状により合わせたもの。(『ロープより』ともいう。)
分割圧縮より線	ぶんかつあつしゆくよりせん	素線をより合わせて圧縮成形された分割部分導体をより合わせて円形に成形された導体。

用語	読み方	定義
編組	へんそ	金属線・綿糸・ナイロン糸、ガラス糸その他線状材料を線心の周囲に網状に施した構造。
防食塗料 (防食性塗料)	ぼうしょくとりょう (ぼうしょくせいとりょう)	アルミ被の防食を目的として、防食層の被覆前にアルミ被上に塗布する塗料。
補強線	ほきょうせん	電線軸方向の強度を補強する目的でケーブル等に挿入される線状材料。
補強層	ほきょうそう	(1)機械強度を高めるために設けるもので、3、4種キャブタイヤケーブルに施される綿帆布または綿糸、麻糸、合成繊維のより糸による編組等の層。 (2)使用上の機械強度を上げるためにケーブル内部に設ける金属製保護層。
巻付け形	まきつけがた	自己支持形の一つで支持線の周囲にケーブル本体を巻き付けた構造。
右巻き	みぎまき	テープ等を巻くとき、進行方向に対して時計方向に巻くこと。(英語では left hand lay という。)
メリヤス編組	めりやすへんそ	主に可とう性の向上を目的としてゴムコードの下打編組として用いられるもの。
持数	もちすう	編組における糸または金属線のひとつの群の中の本数。
油通路	ゆつうろ	OFケーブル内に設ける絶縁油の通り路。
ユニット		線心を10対、50対等、一定の単位で集合したもの。
横巻き	よこまき	電線軸方向に対し、線状材料をらせん状に施した構造。
より合わせ	よりあわせ	複数の素線または線心をよりまとめること。
より込率	よりこみりつ	同心よりにおいて、より合わせたものの素線または線心の1ピッチ当たりの実際の長さ(X)がピッチ(P)に対してどれだけ長いかを百分率で表したものの。
より線	よりせん	複数の素線をより合わせたもの。
より添え	よりぞえ	多心ケーブル等で線心を集合する際に線心間を埋めるために使用する介在物。
ラッシング形	らっしんぐがた	自己支持形の一つでケーブル本体と支持線の両者をバインド線でラッシングした構造。
ラップ巻き	らっぷまき	テープ巻の際、テープ端を他端が重ね合わさるようにして巻き付けること。(『重ね巻き』ともいう。)
ラミネートシース	らみねーとしーす	アルミニウム、鉛等の金属テープとプラスチックフィルムの複合テープ(『ラミネートテープ』という。)の両端が重なるように縦添えし、その上にプラスチックを同心円状に密着被覆した外装。
ワイヤシールド	わいやしーるど	金属遮へい層の一つで、ケーブル絶縁体コア上に複数の軟銅線を均等に巻き付けるもの。(一般的に66kv以上のCVケーブルに採用されている。)